

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 先端科学技術体験センター環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課教育文化係 電話番号：058-272-1111 (内 3578)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 300,208 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	300,208	0	0	0	0	0	0	270,100	30,108
決定額	285,198	0	0	0	0	0	0	256,600	28,598

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

先端科学技術体験センターは平成11年7月の開館から20年以上が経過し、施設設備の経年劣化等がみられるため、計画的な更新を行う。

(2) 事業内容

【工事】

- ・ 空気調和機 (エアハンドリングユニット) 更新

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県先端科学技術体験センターの管理に関する基本協定書より、1箇所あたり60万円以上の施設の修繕は、県が負担することになっている。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	300,208	空気調和機（エアハンドリングユニット）更新
合計	300,208	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画での位置づけを行っている。

- ① 修繕・更新を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減を行う。
- ② 入館者が、常に安全かつ安心して施設利用ができるよう適切な維持保全を行い、突発的な不具合による施設の利用停止・事故等の防止を図る。

（2）国・他県の状況

- ・平成25年11月、国において「インフラ長寿命化基本計画」策定
- ・平成26年4月、総務省より「公共施設等総合管理計画」策定の要請
- ・岐阜県公共施設等総合管理基本方針（公共施設等総合管理計画）策定
→ 保全型維持管理の導入により、建物の長寿命化を図る。

（3）後年度の財政負担

施設設備の状況に応じて計画的に修繕等を実施する。

（4）事業主体及びその妥当性

先端科学技術体験センターは年間約10万人の来館者があり、青少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図るとともに、広く県民に生涯学習の場を提供することを目的とする施設であり、県として快適な環境を整備する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

先端科学技術体験センターを維持管理していく上で重要となる屋上防水工事等を実施することにより、老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消し、来館者にとって快適な施設環境づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

先端科学技術体験センターを維持管理するための環境整備であり、指標は設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

なし（当初、県有施設中長期保全計画では本工事の設計を令和2年度に実施予定だったが、設計不要で本工事を施工できることがわかったため令和2年度は執行無し。）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<p>○</p> <p>来館者へ快適な環境を提供するために必要である。 また、県は施設設置者であり、岐阜県先端科学技術体験センターの管理に関する基本協定書より当該設備の修繕は県が負担することとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	<p>○</p> <p>一般競争入札により、低コストで各設備の更新工事を実施することができている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>先端科学技術体験センターが平成11年に開館してから21年が経過しており、今後ますます施設設備の老朽化が進むことが予想される。 今後も計画的に改修を実施して老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消し、安全安心な環境を整備していかなければならない。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>先端科学技術体験センターは年間約10万人の来館者があり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用がある。 今後も施設設備の老朽化・経年劣化等が進むなか、計画的に改修を実施して、安全安心な施設環境づくりを目指す。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>【○○課】</p>